

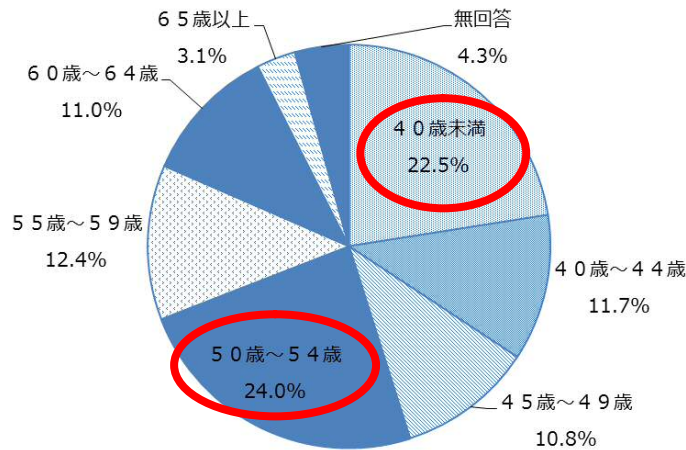
高齢者の生きがいと人材活用

1 本市の高齢者の意識（平成28年度北九州市高齢者等実態調査より）

○老後に向けての準備開始時期（若年者）

⇒老後の準備を始める時期は「50～54歳」が最多。次いで「40歳未満」。

問) あなたは、ご自身の老後に向けての準備(健康づくり、趣味、貯蓄など)を何歳から始めましたか。または、何歳から始めたらよいと思いますか。

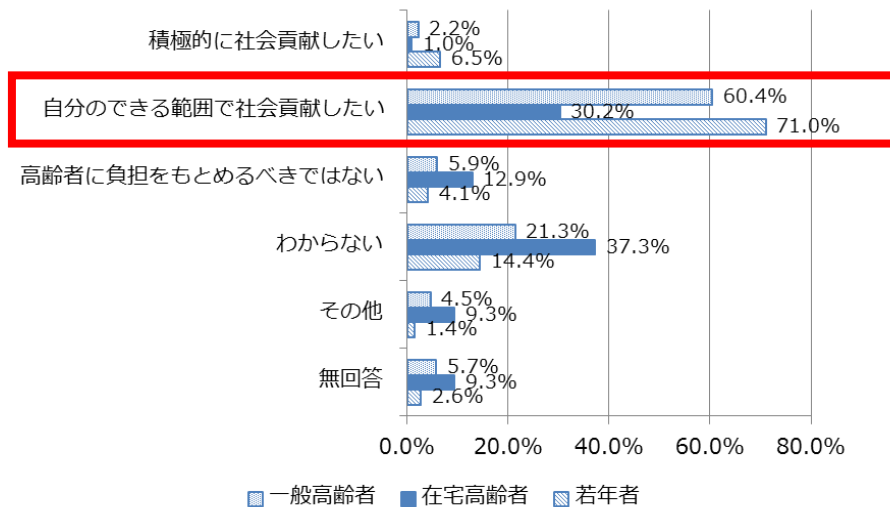


○社会貢献の意欲（一般高齢者・在宅高齢者・若年者）

⇒一般高齢者・若年者ともに社会貢献の意欲は高い。

問) 現在、市内では多くの高齢者が、様々な活動の担い手として活躍されています。

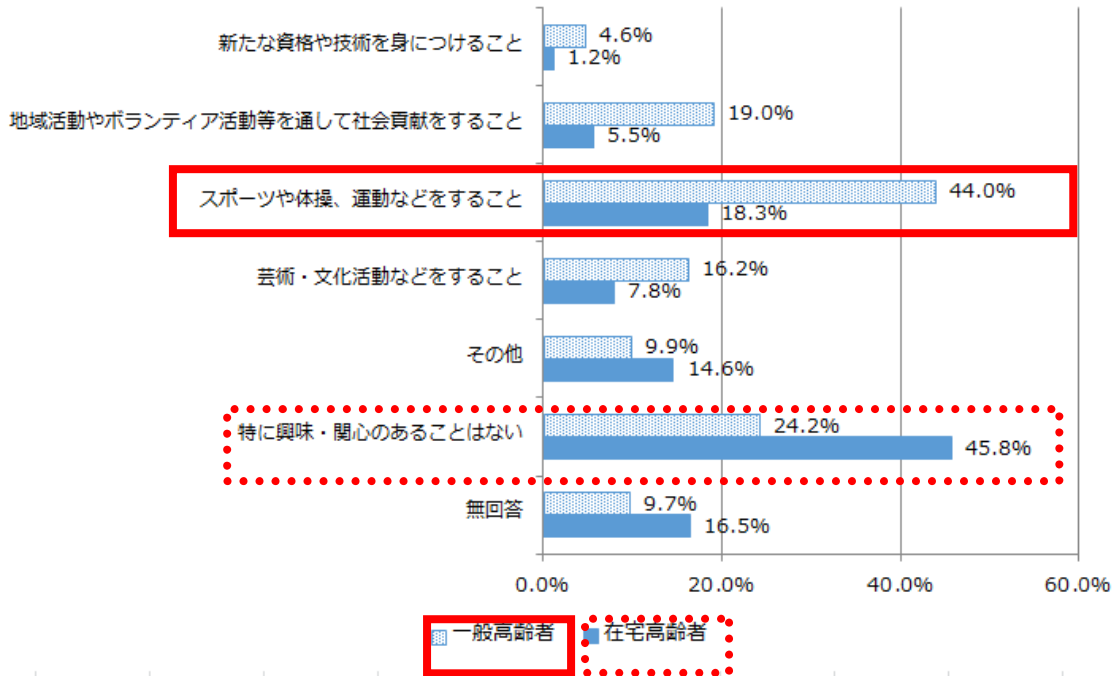
今後ますます高齢化が進む中、社会貢献についてどのように考えますか。（若年者は、「あなたが高齢者になった時の社会貢献についてどのように考えますか。」）



○興味・関心のあること（一般高齢者・在宅高齢者）

⇒一般高齢者は健康づくり（運動）への関心が高く、在宅高齢者は意欲が低下。

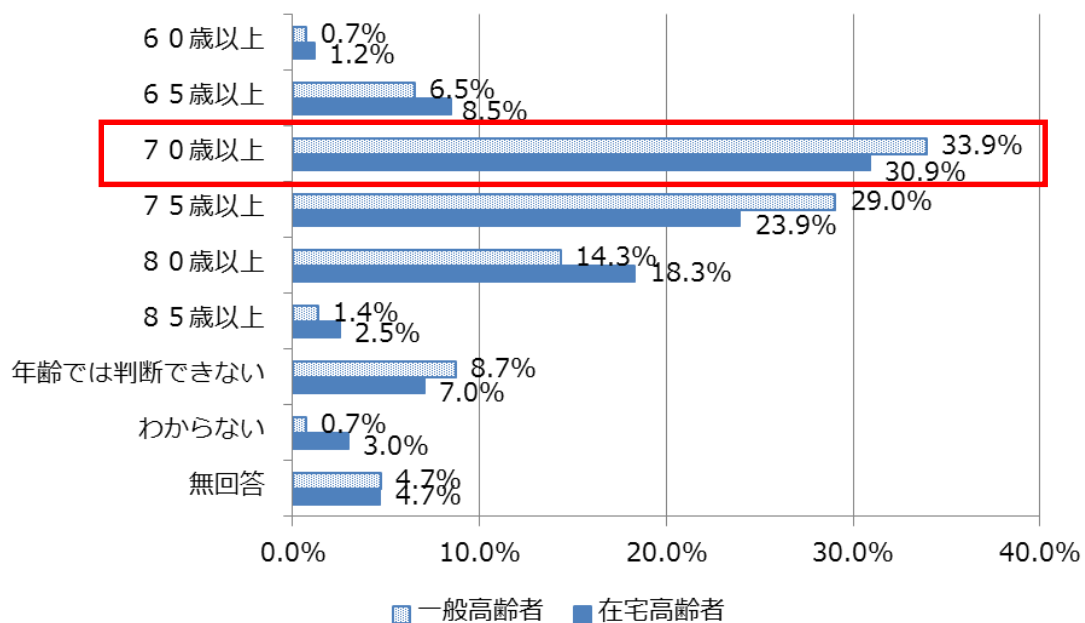
問) 現在、興味・関心があること、あるいは今後取り組んでみたいことはどのようなものですか。



○「高齢者」と思う年齢（一般高齢者・在宅高齢者）

⇒「高齢者」と思う年齢は「70歳以上」が最も多い。「60歳代」は1割未満。

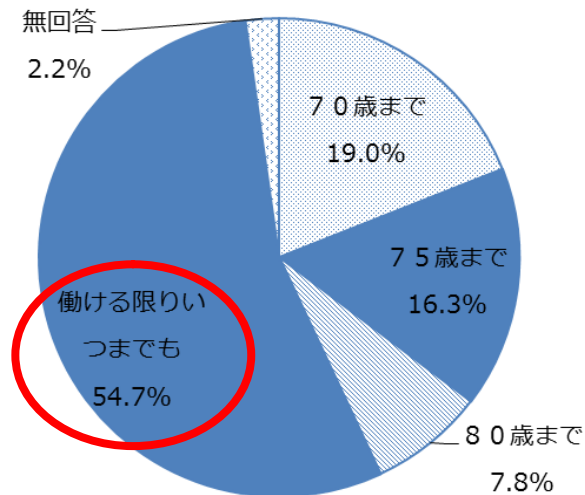
問) あなたは、一般的に何歳頃から「高齢者」だと思えますか。



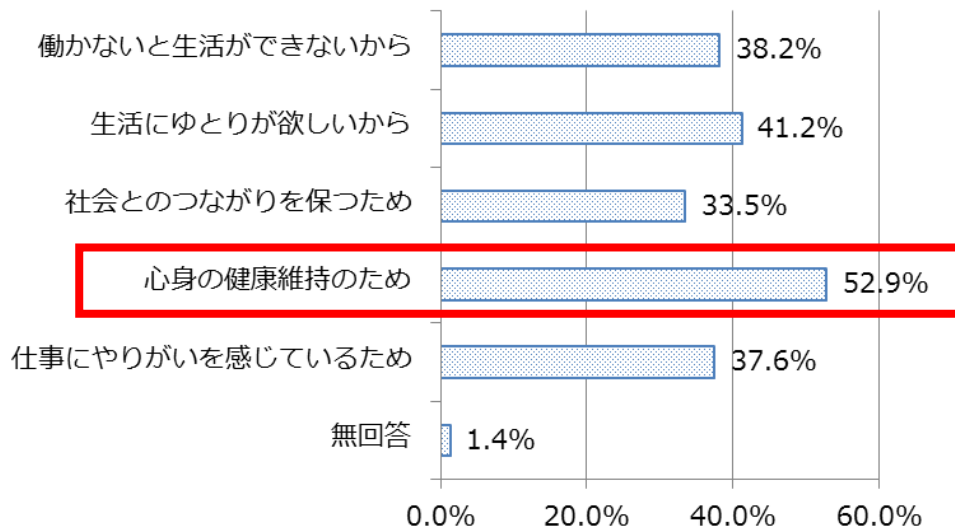
○就労意欲・働く目的（一般高齢者）

⇒現在働いている高齢者の半数以上が、「働ける限りいつまでも」働きたい。
働く目的は、「心身の健康維持のため」が最も多い。

問)【「働いている」と答えた方に】あなたはいくつまで働きたいですか。



問)【「働いている」と答えた方に】あなたが働く目的を教えてください。



※「一般高齢者」とは65歳以上の市内在住（平成28年9月1日現在）者で要支援・要介護認定を受けていない方、「在宅高齢者」とは65歳以上の市内在住（平成28年9月1日現在）者で要支援・要介護認定を受けている方、「若年者」とは40～64歳の市内在住（平成28年9月1日現在）の方。

2 北九州市いきいき長寿プラン

○基本目標

「健康長寿」を合言葉に高齢者が主役になるまちづくり ～人生 90 年時代へ備える～

○目標と方向性

【健やか】いきいきと生活し、生涯活躍できる

◆生きがい・社会参加・地域貢献の推進

▶ 「学ぶ」・「動く」・「働く」で生きがいを探す、仲間をつくる

日々の生活の楽しみや張り合いとなることを見つけることができるよう、教養・文化を学ぶ場やスポーツ活動等の機会の提供、活動の促進を行い、仲間づくりや多世代交流を行いながらいきいきと生活できる生きがいづくりを支援する。

また、高齢者が豊かな知識や経験をいかせる、多様な働き方を選択することができるよう、就労支援に取り組む。

▶ 特技や趣味をいかして社会とつながる、社会の一翼を担う

社会参加することによるメリットについても広く発信しながら、高齢者の意欲や能力に応じたボランティアや地域貢献、福祉活動等の情報提供や、活動の効果的なコーディネートに取り組む。

▶ 人と人をつなげる、人を地域につなげる

高齢者が、豊かな知識や経験をいかしながら、地域においてさらに活動の幅を広げ、新たな展開へ進むことができるよう、活動とのマッチングや地域支援コーディネーターとの連携による仕組みづくりを推進する。

◆主体的な健康づくり・介護予防の促進による健康寿命の延伸

より効果的な介護予防を図るとともに、要介護状態の軽減・悪化防止につながるよう、一人ひとりの状態に応じた取組を強化する。

【支え合い】高齢者とその家族、地域がつながる

◆見守り合い・支え合いの仕組みづくり

◆総合的な認知症対策の推進

◆高齢者を支える家族への支援

【安心】住みたい場所で安心して暮らせる

◆身近な相談と地域支援体制の強化

◆介護サービス等の充実

◆権利擁護・虐待防止の充実・強化

◆安心して生活できる環境づくり

3 具体的な施策（抜粋）

事務事業名	事業概要
<p>年長者研修大学校の運営 （保健福祉・長寿社会対策課）</p>	<p>高齢者の生きがいがづくりや仲間づくりに加え、地域活動や社会貢献活動を担う人材の育成を目的に、周望学舎及び穴生学舎の「年長者研修大学校」で高齢者を対象とした講座を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般コース（教養系・健康系）・実技コース 各校 15 コース ・定員 周望：546名 穴生：504名 ・受講料 年間 24,000円
<p>北九州穴生ドームの運営 （保健福祉・長寿社会対策課）</p>	<p>高齢者をはじめとした市民の健康・体力づくり、世代間の相互交流及びニュースポーツの振興を図るために設置された「北九州穴生ドーム」の運営。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者数（専用利用、個人利用、ドーム自主事業など） H27：122,797名 H28：36,805名
<p>高齢者いきがい活動支援事業 （保健福祉・長寿社会対策課）</p>	<p>高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進するため、「いきがい活動ステーション」（小倉北区魚町）において、高齢者が参加しやすいボランティア活動、生涯学習講座、仲間づくりに関する情報を収集・提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの登録状況（募集情報）H27：97件 H28：120件 ・ホームページ閲覧件数 H27：11,428件 H28：31,895件 ・窓口閲覧件数 H27：2,972件 H28：4,456件
<p>ボランティア活動促進事業 （保健福祉・地域福祉推進課）</p>	<p>市内のボランティア活動の活性化のため、ウェルとばたと各区の「ボランティア・市民活動センター」において、ボランティアのコーディネートや活動支援のほか、関係団体と協働して啓発や情報の収集などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に関する相談件数 H27：29,966件 H28：31,700件
<p>年長者いこいの家 （保健福祉・長寿社会対策課）</p>	<p>地域の高齢者に対して、教養の向上及びレクリエーション活動等の場を提供し、心身の健康増進を図るため、「年長者いこいの家」の運営及び活動に必要な経費の補助や建物の修繕・補修工事を実施。なお、運営・管理は地元住民で組織された「年長者いこいの家運営委員会」が実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置数 172箇所（H30.3.31現在）

事務事業名	事業概要
老人クラブ活動の促進 (保健福祉・長寿社会対策課)	老人クラブの地域社会における社会奉仕活動等を促進し、高齢者福祉の増進を図るため、以下の支援を実施。 ①単位老人クラブへの助成 ②市・区老人クラブ連合会への助成 ③高齢者の健康づくり支援事業 ④年長者の生きがいと創造の事業 ・老人クラブ数 H27: 901 クラブ H28: 910 クラブ ・老人クラブ会員数 H27: 39,428 名 H28: 38,959 名
生涯現役夢追塾の運営 (保健福祉・長寿社会対策課)	これから高齢期を迎える世代を中心に、今まで培ってきた技術や経験、能力や人脈等をいかしながら、退職後も生涯現役として社会貢献活動や経済活動などの担い手として活躍していく人材を発掘、育成することにより、本市の活性化を図る。 ・入塾者数 H27: 29 名 H28: 28 名
介護支援ボランティア事業 (保健福祉局・介護保険課)	高齢者の社会参加や地域貢献を奨励・支援し、健康増進や生きがいづくりにつなげるため、高齢者が介護保険施設等でボランティア活動を行った場合に、その活動を評価してポイント化し、ポイントを換金又は寄付することができる事業を推進する。 ・ボランティア登録数 H27: 1,608 人 H28: 1,769 人
生涯学習活動促進事業 (市民文化スポーツ・生涯学習課)	「いつでも、どこでも、誰でも」自由に学習ができるよう、学習機会を充実し、学習情報を提供する。また、学習の成果をいかすことのできる活動機会を提供する。(生涯学習市民講座の開設、市民センターだよりの発行、文化祭の開催) ・生涯学習市民講座参加者数 H27: 96,182 人 H28: 85,864 人
中高年齢者雇用環境づくり事業 (産業経済・雇用政策課)	シニア・ハローワークを拠点に、国などの関係機関と連携して、高齢者の多様な就業ニーズに沿った相談等支援から生活設計に関するセミナーの開催までをワンストップで提供する。また、「福岡県70歳現役応援センター」と連携し、相談者の年齢に応じた、きめ細やかな就業支援を行っていく。さらに、高齢者の就業機会の提供を行う「北九州市シルバー人材センター」の会員増や就業確保に向けた支援を行い、高齢者の社会参加を促進する。

事務事業名	事業概要
NPO・市民活動促進事業 （市民文化スポーツ・市民活動 推進課）	市民活動促進のため、市民活動サポートセンターを拠点として、NPO・ボランティア活動や協働等に関する相談、情報提供、研修の開催などの支援を実施する。 ・市民活動サポートセンター利用者数 H27：23,623人 H28：24,222人